

まていの里のこども園



家族と一緒に式に参加する入園児達

7名の新しいおともだち

4月7日、「まていの里のこども園」で、入園式が行われました。今年度は、0歳児から3歳児、計7名の子ども達が入園し、計54名で新年度をスタートしました。

式では、5歳児クラスの子ども達元気な園歌を歌い、入園児を迎え入れました。また、来賓からは「本に親しんでほしい」「すこやかにワクワク育ってほしい」などお祝いと励ましの言葉が掛けられました。新たな節目を迎えた子ども達は、これからたくさんさんのことを学び、吸収し、成長していきます。その成長を楽しみに見守っていききたいですね。



0歳児 わかば組



1歳児 つぼみ組



3歳児 たいよう組



2歳児 はな組

新しい春を迎えて

いたて希望の里学園



山田校長先生から教科書を受け取る新入生代表児童

昨年4月に開校した「いたて希望の里学園」。今年度は男子2名、女子4名の計6名が入学しました。入学式は4月6日に行われ、遠藤哲教育長が、「本をたくさん読んでほしい。教科書はお友達です」と告示を述べました。

また、在校生代表・9年生の庄司大夢さんが、「期待と同じくらい不安があると思う。在校生を頼り、記憶に残る大切な9年間にしてください」と歓迎の言葉を述べました。新1年生達は、来賓の言葉に大きな返事で答える様子を見せ、可愛らしくも頼もしい後ろ姿で、とても立派でした。

また、新7年生は後期課程へと進級し、教科ごとに異なる先生の授業や、部活動が始まります。村の宝である子ども達の成長が、今年も楽しみです。

いたて希望の里学園で2回目の入学式

いたてっ子をよろしくお願いします



前列左から 長谷川文先生、根本奈於先生、星郁美先生、山田徹校長、亀田邦弘副校長、菅野貴恵子先生、穴戸愛美先生
後列左から 小暮俊和さん（ICT支援員）、愛澤卓見主査、山内純一先生、上野聡士先生 （当日休み：荒寿子先生、大友千絵先生）

転入教職員披露式

4月2日、いちばん館にて、令和3年度「いたて希望の里学園転入教職員披露式」が行われました。今年度は、新たに13人の先生方をお迎えしました。

転入された先生方は、「いたて希望の里学園」での教員生活に向けて決意を述べ、子ども達との生活をとても楽しみに、生き生きと語る表情が見られました。